

保育には行政が責任を持って

子ども子育て新システムは保育を自己責任に

「子ども・子育て新システム」は市町村の保育実施責任をなくし、保護者が直接保育所を探し、契約する保育の自己責任化を進めるものです。

また、株式会社の参入を進め、保育を儲けのための市場に変えます。儲からなければ撤退し、保護者が途方にくれ、子どもの行き場がなくなることがこれまでも起きています。

私は市長に「保育は行政が責任を持つべき。新システムに反対の意思表示を」と迫りました。

市長は「新システムは不完全。保育は公的な援助が必要である」と答えました。

子どもの育ちに大きな影響を及ぼす保育士さんの待遇改善を

人間市の公立保育所では、専門職である保育士の非正規率が約1.5倍にもなっています。

私は、「早急に改善すべきではないか」と市長に求めました。

市長は「財政上の理由」と冷たい

答弁。「子どもへの施策は最優先させるべきだ」と主張しました。

事実上の待機児童である「保留」の解消を

私は「保留となっても保育が必要なのは同じである。解消を目指すべき」と求め、「保留の解消で保護者の求職活動などを行政が保障を」と主張しました。

シルバータクシー券の存続を

73歳以上の方に支給されているタクシー券の25年度の廃止をやめ、存続することを求めました。



西武中央保育所

小出わたるの連絡先

どんなことでもお気軽にどうぞ

住所 〒358-0053 人間市仏子1170-4
電話 04(2932)7884
携帯 090(6542)3883

市議会つうしん

近況・活動・6月議会の報告

NO. 14

2012年 7月

子ども・子育て新システムに反対を
公的保育の充実を
お年寄りに必要なタクシー券存続を



原発再稼働への国民の怒りは止められない

持続可能な日本の実現に力を合わせましょう

常日ごろから大変お世話になっております。お元気でしょうか。

私は、1月の自転車事故での骨折以来、控えてきた自転車移動を再開しつつあります。事故を起こしてやっと気づいたのか、運転が極めて慎重になり、スピードも控えています。

それでもやはり、自分の力で移動するのは、とても気持ちよく感じます。健康にもよいのでこのまま安全運転を続けていきたいと考えています。

子どもたちの未来のために「原発再稼働ノー！」

さてみなさん、野田内閣は、多くの国民の声を無視し、大飯原発

を再稼働しました。

首相官邸前の抗議行動には、20万人もの人が集まりました。

残念ながら、大手メディアはスポンサーの圧力で取り上げていませんが無視できない状況になってきています。唯一赤旗だけが詳細を掲載しています。また、志位日本共産党委員長もハンドマイクを持って参加し、党派を超えてともに訴え先頭に立っています。

7月16日には「さよなら原発10万人集会」が開催されました。

私は、自分の子どもを含め子どもたちの未来のために、持続可能な日本を残したい！ともに集会に参加し声を上げました。

「子ども医療費」の通院はおあずけ

6月定例市議会

入院はようやく中学卒業まで無料に

今議会に提出された条例改正、補正予算など14議案は、すべて可決・成立しました。

県内で最も遅れている現状

子ども医療費支給に関する条例改正では、入院分について、現在小学3年生までとなっている支給対象を、中学卒業まで拡充するものです。

県内各自治体の医療費助成の現状は、入院分で高校卒業までが2自治体。中学卒業までは、58自治体となっており、小3までと遅れているのは、入間市のみであることが明らかになりました。この現状を重く受けての条例改正になります。



入間市内で行われた平和行進にはたくさんの方が集まり、核兵器廃絶と原発反対を訴えながら行進しました。

総括質疑のなかで、「後期5カ年計画では小学3年生までとなっている」「どれだけの財政効果が見込めるのか」など、制度拡充に批判的な声もありました。市執行部からは、「近隣他市との隔たりが大きすぎるのは問題」、「制度の拡充のため」などの答弁があり、議会最終日には全会一致で成立しました。

通院も中学卒業まで無料に

日本共産党入間市議団は、子育て支援策のひとつとして、議会で繰り返し、制度の拡充を求めてきた経緯からも、今回の条例改正には賛成し、通院も中学卒業まで無料化を検討すべきと主張しました。

市民の願い実現できる市政に

6月議会で、木下市長は今年11月の任期をもって退任することを表明しました。市長は8年前に「合併しなければ財政が破綻する」「政治生命をかける」として、狭山市との合併を強引に推し進めました。しかし、市民アンケートでは合併に「反対」が「賛成」を上回り、狭山市との合併は破綻しました。

市長は合併協議に1億3000万円もの税金をつぎ込みながら、その責任を取ろう

新日本婦人の会入間支部支部長 対馬ヨシ江さんの話

私たち新日本婦人の会は、長い間運動に取り組んできました。「やっとここまでできた。運動を続けてきて良かった。願いが大きく前進した」といった思いです。「お金の心配をしないで医者さんにかかれたら。安心して子育てのできる支援を」の市民の願いは切実です。引き続き、通院についても中学卒業まで拡大されるようみなさんと力をあわせたいと考えています。



20万人の再稼働撤回の声

7月1日入間市で市役所前に100人近くの市民が集結し平和大行進が行われました。核兵器廃絶とともに、脱原発が大きなテーマとなりました。

今、全国各地で、脱原発の動きが新しいネットワークで大きく広がっています。首相官邸前の抗議行動は、当初1000人規模だったものが、6月22日に4万5000人、29日に20万人と空前の規模に膨れあがっています。

日本共産党は原発再稼働に強く反対します。みんなで怒りの声をさらに広げ、再稼働を撤回に追い込もうではありませんか。

共産党議員の一般質問

- 石田よしお議員
原発ノー、オスプレイ、横田基地
- 吉沢かつら議員
介護保険制度の改善、保険料減免拡充
- 安道よし子議員
子ども医療費は通院も中卒まで無料に
- 小出わたる議員
保育の公的責任守れ、タクシー券存続

日本共産党市議会報告

2012年7月 発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883